学校番号	327

令和８年度　芸術科（国際文化科）

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「Joy of Music」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野にわたって年間を通して学習します。
・学習の到達度は、ファイル（授業で配付するプリント等を挟む)、実技テストで評価します。
・音楽の学習は、仲間とともに工夫しながら練習し、全体で一つのものを作りあげます。そうして技術だけでなく、責任感、協調性、感性等、様々な力が身につきます。
・音楽が生涯に渡り、ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と歴史的背景、音楽文化の多様性について理解し、創意工夫をした音楽表現をするために必要な奏法を身に付けることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
知識や技能を働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化に関心を持ち、主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲の表現内容や様々な表現形態を理解している。 ・表現上の効果をいかした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！	【歌唱】 「群青」 「海の声」 等	a:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 C: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	プリント ノート 観察 発表	プリント 観察 発表	観察 プリント 発表 振り返り レポート
	仲間とともに創意工夫してみよう！	【器楽】ピアノ連弾 ギターアンサンブル	a:楽譜を読みリズムをとらえ、正確に演奏し他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、演奏で表している。 b:曲想をとらえ、ペアと息を合わせながら表現している。 C:音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	観察 発表	観察 発表 プリント	観察 発表 振り返り レポート
2・3学期	様々な楽曲に触れよう	【歌唱】 「大地讃頌」 「アイノカタチ」 【器楽】 「さくら」弾き歌い 等 【鑑賞】 「西洋音楽」等	a:様々な表現形態による歌唱表現・器楽表現の特徴について理解して演奏している。音楽の特徴と文化的・歴史的背景、について理解している。 b: 歌唱・器楽表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、曲想に合った表現を工夫している。 C:主体的・協働的に歌唱・器楽・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	プリント ノート 観察 発表	プリント 観察 発表	観察 プリント 発表 レポート

	アンサンブル・バンドの発表をしよう！	【器楽】卒業演奏会に向けて 自由課題	a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱・器楽表現を創意工夫している。 C:主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組もうとしている。	プリント 観察 発表	プリント 観察 発表	観察 プリント 発表 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度